

# 人と地球に優しい技術で、 環境を守り、持続可能な事業活動に取り組みます。

## 地球の環境、社会と暮らしに調和した 事業活動に取り組みます

私たちは、豊かな地球の環境資源をさまざまに利用して社会成長・発展を実現してきました。そして、地球という限られた世界での成長の限界が指摘され、環境問題への対応・温暖化対策などが緊急課題となっています。この課題に総力を挙げて取り組むことは社会の一員としての企業にとって、もっとも優先すべき責務です。このような認識のもとに企業理念として「グリーン宣言」を掲げてきました。環境を守り健康で快適な暮らしを創ることを目標にグループ企業が一丸となって取り組んでいます。

## 環境を守る先進塗料の開発を進めています

当社は総合塗料メーカーとして、塗料製品とコーティング技術をベースとした事業活動を展開し、社会と暮らしのさまざまな場面で、彩りと潤いを創出してきました。重防食塗料分野では豊富な実績を誇り、鋼構造物の機能維持や外観保全を通じてライフサイクルの延長、資源の活用などに貢献しています。また太陽光による屋根や道路の温度上昇を抑え、冷房コストの削減やヒートアイランド現象の緩和につながる遮熱塗料を開発しました。温暖化対策のひとつとして、揮発性有機化合物（VOC）を含まない水系塗料や粉体塗料・環境負荷が少ない重金属フリー塗料・低ホルマリン塗料の開発など、次世代をみつめた先進塗料製品の開発を進めています。

## 環境・安全・健康に配慮したレスポンシブル・ケア 活動を推進しています

当社は化学産業の一員として1995年の日本レスポンシブル・ケア協議会（JRCC）の設立に際し、設立発起人会社として参画し、環境・安全を企業の責任として守っていくレスポンシブル・ケアの活動を開始しました。

化学物質は産業活動や日常生活を営む上で欠かすことのできないものですが、取扱いを間違えた場合、それはしばしば人体や自然環境にリスクを与えることがあります。それだけに化学製品を扱うメーカーは責任ある行動をとることが強く求められます。私たちは塗料という化学製品を通じて、社会の発展と暮らしの向上に貢献することを願い、

さまざまな製品をお届けしています。しかしながら、化学製品であるがゆえのリスクの発生にも常に留意し、それに備えた社内体制を確立しなければなりません。自己責任を基本とした自主管理こそがレスポンシブル・ケアの基本精神であり、法令の遵守だけにとどまることなく、環境や安全・健康への配慮が行き届いた生産活動に取り組んでいます。

## 社会の倫理規範を守り、信頼に応えていきます

地球の温暖化防止、環境を守る活動にグループ企業が全社をあげて取り組み、環境を守る先進的な製品を開発し提供すること、さらには環境の保全・人の安全・健康の確保との調和を重視するレスポンシブル・ケア活動を推進することも、企業としての社会的責任（CSR）を遂行することに繋がっています。法令遵守はもとより、社会の倫理規範に適合した経営を行うことで、社会の信頼に応えてゆかねばなりません。

当社は「大日本塗料企業行動憲章」を定めて、全員でコンプライアンスを徹底していきます。かけがえのない地球を守るため、常に環境に優しい製品を生み出すとともに、環境との共生を目指し、モラルを守りお客様の安心と信頼を得ることがそのまま私たちにとっての社会的責任を遂行することであり、そのゆるぎない意思の表明であると考えます。

このような私たちの思いを皆さまにお伝えするとともに、持続可能な社会づくりのためにどのような事業活動を展開しているかを知っていただくため「社会・環境報告書」としてまとめました。環境と安全と健康のために日常的に取り組んでいる活動全般について、皆さまのご理解をいただく一助となれば幸いです。

代表取締役社長

山下 文隆

